

北浦報 ときわ

第72号

発行所 北浦村役場
北浦村大字山田
発行人 北浦村長 高柳庄次郎

男女計 5,853
6,281
12,134
世帯数 2,239

(1) そのごとに暑くなると、スマーミナのつく料理をつくして、一家の食膳作りに主婦の苦勞は大へんです。スマーミナ食卓には、昔から、土用のうのうなきが代表です。最近はこれも高齢でなかなか食べられません。

安価でスマーミナのつくものは、またりぬきなどして、いろいろに料理すると、おいしくいただけます。

鳥牛豚などの胃肝臓、心臓舌、腸など。よく塩でもみ洗いしたりぬきなどして、いろいろに料理すると、おいしくいただけます。

大字小崎地内にある。天正十九年、小崎城の跡に天台宗如意輪山普門院觀音寺が建てられ、明治三十三年、住民の手で巾二十尺、長さ三百五十尺の直線(鉄砲)馬場を作り、その両側に松や楓、馬場先には本邦に稀なる三本松があり、樹齢七百年余、高さ四十尺、周囲十一尺の老松で、一名小崎城大手の松とも言われておりますが、最近にいたり枯れ姿に変り、住民から惜しまれている。尚、馬場は、昭和二十五年に茨城百景に指定されている。



統合した農業改良普及所

ながらく、山田にあった農業改良普及所が七月二十八日をもって廃止されました。

農業改良普及所の統合理由は、最近の農業と、これをとりまく社会的、経済的諸条件が非常に広い地域のなかで、

歩調を合せながら経営されるようになってしまったので、普及事業

も新しい体制をつくるために統合を実施しました。

農家に経営技術水準の高い、専門的な指導をするためには、普及員を充実して活動をしやすくし、技術指導陣の組合せを総合的に行

なっています。別にパンフレットを配付して、全農家にお知らせいたしましたが、指導員との連絡をとるときには、役場の農業課までお問い合わせください。

又指導面では、各部門ごとの共同組織の集会に専門技術指導員が出張して指導するので、深い面、高い技術の指導が可能となります。

今後の農業改良普及事業の細部について、別にパンフレットを

書いて、全農家にお知らせいたしましたが、指導員との連絡をとるときには、役場の農業課までお問い合わせください。

三、富永防犯主任、小川署長の指導。

少年非行の見わけ方。

環境の浄化へ。

少年非行の見わけ方。

○学校の勧めをサボる。

○態度や言葉づかいから。

○外出したがり、おしゃれになる

ことになりました。

五、親の自覚。

三、宗教心の養成。

四、親の自覚。

二、自分の子供を参考にし

て育むこと。

一、金銭の使い方が需

らよい。

二、持ち物に注意する。

三、服装や態度に注意す

る(帽子のかぶり方など)

五、子供の発達段階に応じ

六、善行も集団化の傾向があ

ることに努力したい。

一、子供をほめてやる。

二、大人は子供の善行を見つける。

三、特に補導員は率先注

意して善行を学校へ連絡し

ます。

国民健康保険

世帯主のかたには、現在すでに七割給付が実現されていますが、今度世帯主以外の国保加入者全員に七割給付が行なわれることになりました。国保の加入者が医療を受けるときには、その費用のうち三割だけを、直接医療機関に支払はよいことになります。

農内では、二十以上の市町村が昭和四十一年一月一日から実施・北浦村も同日から実施されます。

これは、一般の健康保険にくらべて、相当下まわる国保のサービス内容を引き上げようという国の政策に基づいて実施されるもので、加入者全員に七割給付を実施する市町村には、現在の補助金(ほかに多額(補助率四分の三))の国庫補助金が交付されることになります。

そのかわり、市町村が医師に支払う額が、翻たけふえますが、このうちの四分の三は國から市町村へ交付される補助金でまかなわれます。残り四分の一は保険料とし、保険加入者が負担することになります。

第一分科会

○小中学生の非行の早期発見の方法はいかにし

たらしい。

第二分科会

午前中は三つに分れ分科会で

討議を行つた。

第三分科会

○少年の善意を高めるにはどうし

たらよいか。

一、子供をほめてやる。

二、大人は子供の善行を見つける。

三、服装や態度に注意する。

四、家庭会議が大切である。

五、夜ふかしをしない様にし

が不規則にならぬように。

う。

三、家庭学習のこと。

家の者は子供の勉強の時間 正しく守ってやりましょう。

四、中学生以下の子供のバイケ

乗は絶対にさせないよにしょ

う。

